

令和2年度 事業計画

■基本的な考え方

急速な少子高齢化や核家族化の進行などにより、人の絆がますます希薄化している状況の中で、高齢者自らが生きがいを持って安心して生活できる環境づくりや、さらには支え合いなど地域活動の必要性が一層高まっています。

そうした中で、「健康・友愛・奉仕」の三大目標を基本活動とし、高齢者の自主的な組織として地域に活動基盤をおく老人クラブの存在意義は、大きいものがあります。

引き続き会員の拡大に取り組むとともに、若手や女性のパワーを活かして組織の活性化を図っていきます。

また、これまでの活動経験をもとに、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、高齢者の暮らしやすい地域づくり活動への参画を目指していきます。

■重点事業

1 会員増強運動を推進しよう！

平成26年度から5年間の会員増強運動に取り組んでまいりました結果、減少割合がこれまでより少なくなったり、会員の増加につながった老連があるなど一定の成果も見えていますが、会員数の減少が続いており、大変厳しい状況にあります。

この5年間の運動の総括を行うとともに、今後の取組みに向けての検討を行い、単位クラブの会員増を目指すとともに、解散クラブ防止と新規クラブの立ち上げに取り組む、会員増を推進していきます。

2 介護予防や生活支援、少子化対策に積極的に参画しよう！

介護保険制度の見直しにより、要支援者への介護予防給付（訪問・通所）について市町村は、独自の新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）を実施しています。

まずは市町村で行われる協議の場に市町村老連会長も参加し、老人クラブも介護予防や生活支援に資する取り組みを行っていることへの理解と周知に努めていきましょう。

この事業と老人クラブ活動との関わりでは、「友愛活動」、「健康づくり活動」との関連性が高く、とりわけ友愛活動の広がりが期待されています。行政・関係者と連携し、協力して、新地域支援事業への参画を進めていきます。

また、新地域支援事業に取り組むことで、クラブの活性化を図り、会員増強運動にも弾みをつけます。

さらに、老人クラブの組織力を活かし、県の進めている少子化対策にも積極的に参画するよう啓発していきます。

3 健康づくりと介護予防を推進しよう！

これまでキャラバンメイトと健康づくりリーダーの養成に取り組んできましたが、さらに知識を高めていただくとともに、新たな人材の養成にも努めていきます。

また、こうした方々が地域で認知症に対する啓発や健康づくり活動に関わっていくきっかけづくりとなる委託事業を行います。

4 若手高齢者広域スポーツ等交流大会を開催しよう！

企画から運営まで若手委員が主体となって取り組み、複数の市町村老連が参加できるスポーツ大会等の開催を支援していきます。

ハイキング、ボーリング、ゴルフ大会の他、文化的な取り組みは若手高齢者の活動の場を広げる効果があるとともに、複数の市町村老連の広域的な交流と会員増にもつながっています。

5 若手・女性委員の活動の場を一層広げよう！

「元気ハツラツ&はちきん大会」は多くの方が参加し、会場と一体となって盛り上がった素晴らしい大会となりました。

大会が成功裏に終わったのは、若手・女性委員による企画と準備、自分たちによる自主的な運営によるものであり、その企画力と行動力は着実に向上しています。

今年度もこうした交流会を通じて、これからの県老連の活動の基盤となる人材を育てていきます。

■事業の推進

1 地域支え合いの推進(2,273→2,330 千円 57 千円)

地域に密着した高齢者組織のネットワークを活かし、1 人暮らしや高齢者世帯など閉じこもりがちな高齢者に情報を届けるなどの友愛活動を進めるとともに、子どもの見守りや、環境美化活動を推進し、地域の高齢者の暮らしを支える取り組みを進める。

(1) 地域支え合い事業の実施

- ① 3市町村老連で実施
- ② 1 市町村老連当たり 30,000 円以内

(2) 高知県老人クラブ大会の開催

2 健康づくり・介護予防の支援(3,757→4,374 千円 617 千円)

「認知症になっても生涯支え合う老人クラブをつくろう！」をスローガンに、健康づくりリーダーやキャラバンメイトを中心に認知症に対する取組を行うとともに、介護予防の知識の

習得、健康づくりに関する地域での実践、スポーツを通じた健康づくりを推進する。

(1) 健康づくりリーダー研修の実施

健康づくりリーダー等に、介護予防の知識や、健康づくりに関する知識をさらに高めていただくとともに、新たな人材の養成にも努め人材のすそ野を広げる。

①健康づくりリーダー養成講座の実施

*2 会場

(2) 健康づくりリーダー養成事業の実施

健康づくり活動や介護予防活動など他の先進例となる活動を行う市町村老連を指定して、他市町村に共有・広報することにより、高齢者の健康づくりを進める。

①3市町村老連

②1市町村老連あたり：50,000円以内

(3) ろうれんピックの開催

スポーツを通して、交流の輪を広げ、健康と生きがいづくりを推進する。

3会場で開催し、より多くの方が参加しやすい大会となるよう運営していくとともに、競技種目の見直しを検討していく。

①開催場所

*3 会場

3 若手高齢者・女性会員による老人クラブ活動の活性化 (5,521→5,656千円 135千円)

(1) 若手会員加入・活動促進モデル事業の実施

若手会員のニーズの高い事業を実施し、老人クラブ会員増強と活動の活性化を図る。

①3市町村老連で実施

②1市町村老連あたり：50,000円以内

(2) 若手高齢者広域スポーツ等交流会の開催

市町村若手委員会の主催による交流会を開催することにより、企画力と指導力を育成するとともに、広域に参加を呼びかけることで、相互の交流と会員増を図る。

①実施主体：3市町村老連

②1市町村老連あたり：80,000円以内

(3) 元気ハツラツ&はちきん大会の開催

若手委員と女性委員が企画から運営まで知恵を出し合うとともに、新たな仲間の勧誘・活動の場として開催する。

(4) 会員増クラブに対する活動費の助成

会員が5人以上増えたクラブに対して活動費を助成する。

- ①単位老人クラブあたり：10,000円以内
- ②15単位クラブ分計上
- ③市町村老連経由で協議書提出

(5) リーダー育成研修会の開催

①研修内容

会員増を図るため、必要なスキルを学ぶ研修会を開催する。

②対象者

- *単老会長はじめ役員
- *女性・若手委員
- *将来リーダーとして期待される会員

(6) ブロック別リーダー養成研修会の開催

①研修内容

県内3ブロックで開催し、リーダーとしての役割の理解を深める。

②対象者

- *単老会長はじめ役員
- *会長が将来の幹部として推薦する会員
- *将来リーダーとして期待される会員

(7) 女性委員会と市町村老連女性委員会交流事業

県老連の女性委員会が市町村の女性委員会と交流会を持ち、活性化につなげていく。

4 老人クラブ活動の支援(2,042→1,938千円 △104千円)

ブロックで行う自主的で多様な活動に対して助成することにより、地域の実情に応じた事業を行うとともに、活力あるクラブづくりを支援する。

(1) 老人クラブ活動支援事業の実施

- ①広域支援事業（ブロック別芸能大会、体育大会など）に助成：147千円

5 老人クラブ活動の情報提供と啓発(8,322→7,311 千円 △1,011 千円)

(1) 広報活動の推進

- ①ホームページでの活動状況の紹介
- ②機関紙の発行

(2) 四国老人クラブ大会の開催

(3) ブロック別会長・事務担当者会の開催

*3ブロック

6 法人事業及び管理運営 (3,782→3,871 千円 89 千円)

(1) 理事会・評議員会・正副会長会の開催

(2) 全国老人クラブ大会(山形県)、中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会(岡山県)等への参加と情報収集

(3) 社会参加活動等の推進

- ①「老人の日・老人週間」の推進
- ②高齢者交通事故防止活動や高齢消費者被害防止の推進

(4) 老人クラブ傷害保険・賠償責任保険、会員章の普及促進

- ① 傷害保険・賠償責任保険
 - *年々減少傾向：積極的な加入促進活動を！
- ②会員章の普及
 - *“仲間のしるし”であるとともに活動資金となる。全会員への普及を目指そう。

(5) 会長・事務担当者会の開催

- *令和2年度予算及び事業の内容
- *事務担当者相互の情報交換と研修